

NO. 3 事業名 畑地帯総合整備事業（国補）

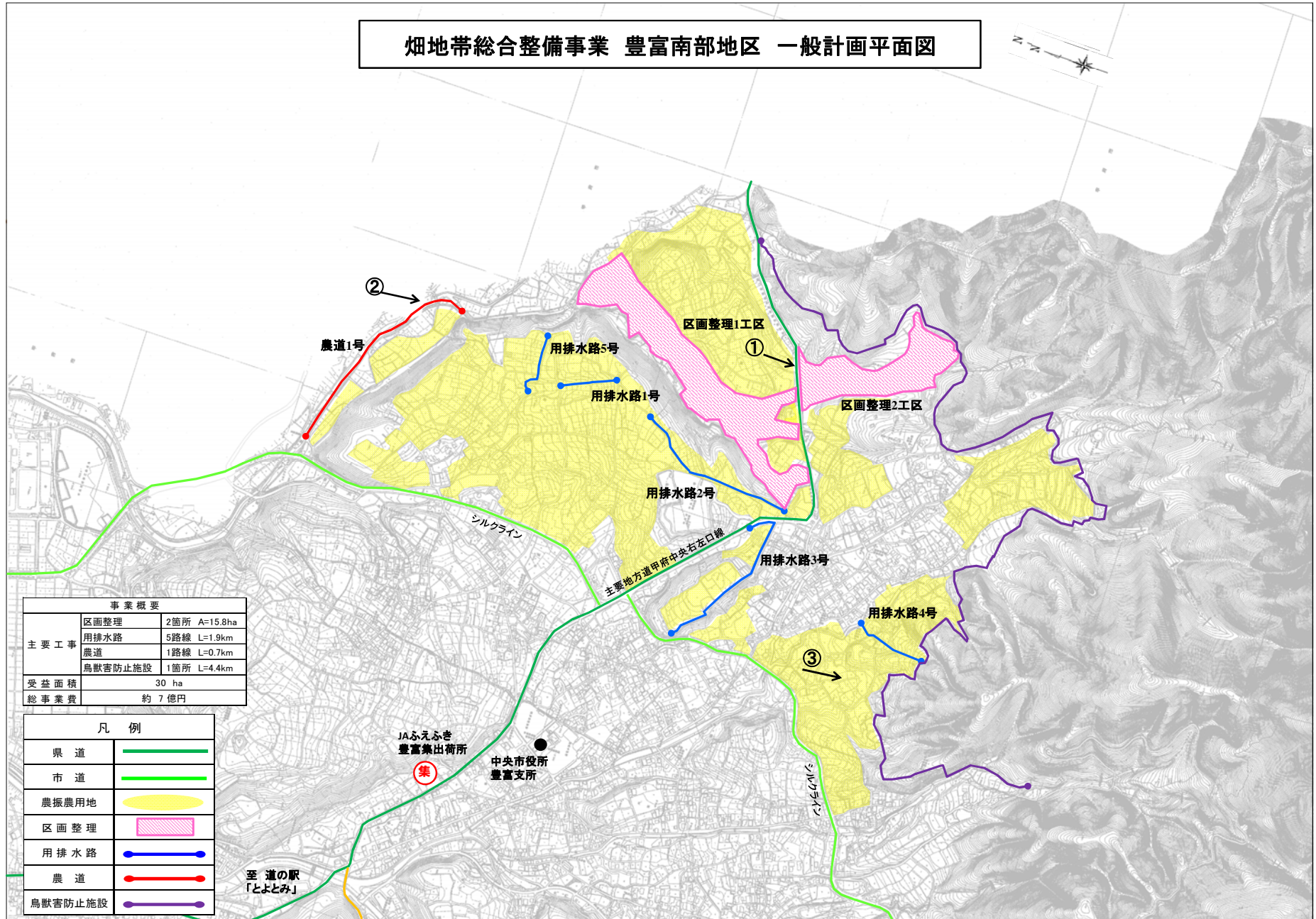
箇所・地区名 とよ とみ なん ぶ  
豊 富 南 部

1. 事業評価説明シート

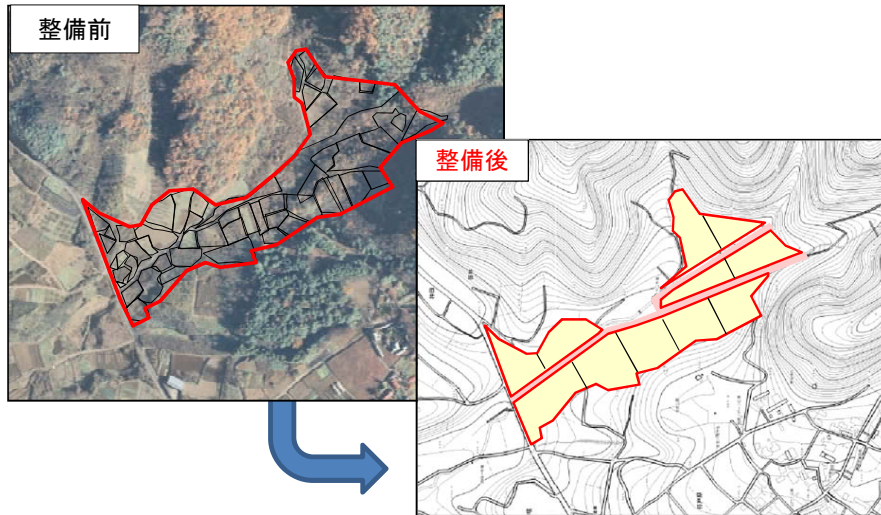
(区分) **国補**・県単

<b>事業名</b> 畑地帯総合整備事業（国補）	<b>事業箇所</b> 中央市木原、関原	<b>地区名</b> <small>とよみなんぶ</small> 豊富南部	<b>事業主体</b> 山梨県																		
<p><b>(1) 事業概要</b></p> <p><b>①課題・背景</b>                  本地域は、全国でも有数の養蚕の村として知られていたが、繭価の低迷による養蚕離れから、他作物への転換が急速に進み、近年ではモモを中心とした果樹やスイートコーンなどの野菜が、特産物として定着しつつある。                  一方、本地区は小区画・不整形など、営農環境の悪い農地が点在し、農地の背後は山林があることから獣害も深刻化してきている。                  このため、区画整理による担い手への農地集積・集約化を進めるとともに用排水路や農道の整備を総合的に行うことにより、生産性の向上と農業経営の安定化により、地域農業の維持向上を図る。</p> <p><b>②整備目標・効果</b></p> <p><b>□主要目標</b> ○農業生産力の向上                  ・農業所得増加額 2,376千円/ha≥703千円/ha※</p> <p><b>□副次目標</b> ○農業用排水能力の向上                  ・施設老朽度 <math>-\infty \leq 0</math>年 ※                  ・(計画排水能力0.165m<sup>3</sup>/s)÷(現況排水能力0.1m<sup>3</sup>/s)                  =1.65≥1.0※                  ○鳥獣被害の軽減                  ・被害軽減額12,635千円/年÷16.5ha                  =765千円/ha・年≥490千円/ha・年（※評価基準値）</p> <p><b>□副次効果</b>                  ○遊休農地の解消                  ○果樹園景観の保全                  ○重要プロジェクトとしての位置づけ                  （新・やまなし農業大綱）</p>		<p><b>(3) 事業の妥当性評価</b> <span style="float: right;">妥当・妥当でない</span></p> <p><b>①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か）</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>                  ・本地区は食料・農業・農村基本法に位置づけられている農業の持続的発展、食料の安定供給、多面的機能の発揮に資することから行政が行うべきである。</p> <p><b>②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか）</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>                  ・土地改良法施行令第50条第4項により県が事業主体となって行うべきものである。</p> <p><b>③経済妥当性</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>  <math display="block">\text{費用便益費 便益 (B) / 費用 (C) = 1.70 &gt; 1.0}</math>                 ・便益 (B) = 1,343百万円、・費用 (C) = 788百万円</p> <p><b>④事業実施・規模の妥当性</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>                  ・営農条件を改善する上で必要な整備量としている。</p> <p><b>⑤整備手法の有効性</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>                  ・受益面積規模、事業対象工種から、畑地帯総合整備事業で対応することが妥当である。</p> <p><b>⑥環境負荷への配慮</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>                  ・工事の際は、環境等への影響を最小限にするよう措置を講じる。</p> <p><b>⑦事業計画の熟度</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>                  ・早期着工の要望有り</p> <p style="text-align: center;"><b>総合評価</b> <span style="float: right;">[貢献度ランク：a]</span> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>																			
<p><b>(2) 整備内容と整備量</b></p> <p><b>①整備内容</b> 区画整理 A=15.8ha、農道0.7km、用排水路1.9km、 鳥獣害防止施設 1箇所</p> <p><b>②整備期間</b> 平成29年度～平成34年度</p> <p><b>③総事業費</b> 約7億円                  （国費3.5億円(5/10) 県費1.75億円(2.5/10) 市費1.75億円(2.5/10)）</p> <p><b>④全体計画</b> （年度別整備内容） （事業費）</p> <table border="0"> <tr> <td>平成29年度</td> <td>測量・設計</td> <td>30百万円</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>区画整理、農道、鳥獣害防止施設</td> <td>140百万円</td> </tr> <tr> <td>平成31年度</td> <td>区画整理、農道、鳥獣害防止施設</td> <td>140百万円</td> </tr> <tr> <td>平成32年度</td> <td>区画整理、用排水路、鳥獣害防止施設</td> <td>140百万円</td> </tr> <tr> <td>平成33年度</td> <td>区画整理、用排水路</td> <td>140百万円</td> </tr> <tr> <td>平成34年度</td> <td>用排水路</td> <td>110百万円</td> </tr> </table> <p><b>⑤既整備内容・期間・事業費</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業名 県営かんがい排水事業「笛吹川地区」</li> <li>・整備内容 管水路 L=119km</li> <li>・整備期間 昭和48年度～平成13年度</li> <li>・総事業費 18,286百万円</li> </ul>		平成29年度	測量・設計	30百万円	平成30年度	区画整理、農道、鳥獣害防止施設	140百万円	平成31年度	区画整理、農道、鳥獣害防止施設	140百万円	平成32年度	区画整理、用排水路、鳥獣害防止施設	140百万円	平成33年度	区画整理、用排水路	140百万円	平成34年度	用排水路	110百万円	<p><b>【事業位置図等】</b></p>	
平成29年度	測量・設計	30百万円																			
平成30年度	区画整理、農道、鳥獣害防止施設	140百万円																			
平成31年度	区画整理、農道、鳥獣害防止施設	140百万円																			
平成32年度	区画整理、用排水路、鳥獣害防止施設	140百万円																			
平成33年度	区画整理、用排水路	140百万円																			
平成34年度	用排水路	110百万円																			

2. 添付資料シート (1)



## 2. 添付資料シート(2)



① 不整形で狭小なほ場を集積し、新規就農者や農業生産法人等の新規参入を中心とした畑作営農を展開する。



② 幅員が狭く、排水路が未整備であるため農地の湛水被害が生じている。



③ 野生鳥獣による被害状況



④ 多くの人で賑わう「道の駅とよみ」への出荷による農業経営の安定化を図る。